

AGC モノづくり研修センター紹介

旭硝子株式会社 中央研究所

中島 哲也

AGC Monozukuri (Quality Manufacturing) Training Center

Tetsuya Nakashima

Research Center, AGC

1. はじめに

これまで日本の製造業は、高い技術力とリーズナブルなコストを武器に国際的に優位に立ってきた。事実、“Made in Japan”と云えば高品質・高性能の代名詞でもあった。しかし近年、日本企業の製品が品質トラブルを発生させるケースが少なからず見られている。その要因の一つとして、熟練技能者や高度技術者が持つ、マニュアル化しづらい現場固有の高度な技術やノウハウがうまく伝承されていないといった問題点が指摘されている。この問題は、定年を60歳としたときに、団塊の世代の定年退職者が最も多くなるのが本年であるということから、「2007年問題」として社会的にもクローズアップされている。

当社でも本問題は大きな課題と考えており、2004年度からの経営方針“JIKKO”の中で「モノづくりへのこだわりと現場力の強化」を主要課題として掲げ、2005年4月にモノづくり技術強化室を設置、①技術・技能者の教育体系の整備、②技術・技能の評価システムの確立、③技能伝承教材の作成、④人材活用制度の制定、

⑤風土・土壌作り、などに取り組んできた。そして2006年7月に、こうした施策の拠点としてAGCモノづくり研修センターを開設した。本稿では、当センターの概要を紹介したい。

2. AGCモノづくり研修センター紹介

2-1. デザイン

AGCモノづくり研修センターは、弊社京浜工場弁天地区に2006年7月竣工された。外観にはAGCの象徴とも言うべきガラスを随所に採用し、光が透過してできる「光のスペクトラム」をコンセプトに、ガラスとそこを透過する光の美しさを強調するデザインとなっている。正面ガラスファサードには赤外線カットガラス、クールベールの合わせガラスが、接着剤に依存しない新接合システム、ディンプラス工法で施工されている。さらに、1階前面ガラスには防汚ガラス、側壁面にはルミフロンなど、AGCの優れた製品が随所に採用されている(写真1)。なお、当研修センターは平成18年度

第51回神奈川建築コンクールの一般建築物部門で優秀賞を、第9回グッド・ペインティング・カラーで最優秀賞を受賞するなど、外部からも高い評価を得ている。

〒221-8755 横浜市神奈川区羽沢町1150番地

TEL 045-374-7704

FAX 045-374-8866

Email: tetsuya-nakashima@agc.co.jp



写真1 AGCモノづくり研修センター外観

2-2. 施設概要

建物は、研修棟と実習棟の2棟で構成されている。

●研修棟

4階建てで、1階は展示スペースと討議室、応接室、2階は電気制御およびパソコンの実習室、3階は研修室と討議室、資料閲覧室・学習室、4階は300人以上収容可能な研修室



写真2 ETFE大型スクリーン



写真3 研修棟の展示コーナー

と談話室からなっている。各階は1階から順に、青、緑、オレンジ、赤の各カラーが基調となって色分けされており、明るく落ち着いた環境が整えられている。

また、1階の展示スペースには、AGCオリジナルの熱可塑性フッ素樹脂ETFE製大型スクリーン(写真2)をはじめ、各種製品が最終商品の形で展示されている(写真3)。

●実習棟

「現場、現物、現実」をコンセプトに、実際に工場で使われているものに近い設備や装置を使って体験学習でき、ガラスや化学、電子・ディスプレイ等に関するすべての技術・技能について理論と実践を身につける「実学一体教育」が可能な環境となっている。中には、以下のような施設が設けられている。

- ・ 築炉工房（実際の炉材を使って作られた小型窯を用いて、築炉技術、窯メンテナンスなどを学ぶ：写真4）
- ・ 化学品工房（化学プラントの基本や、設備運転・保全などを学ぶ：写真5）
- ・ モノづくり工房（基本的な機械製作設備を使ってモノづくりの基礎を体験できる：写真6）
- ・ 設備ふれあい工房（基本的な機械の要素・設備の実物を体験しながら理解できる：写真7）



写真4 築炉工房



写真5 化学品工房



写真6 モノづくり工房



写真7 設備ふれあい工房

3. 最後に ～AGC モノづくり研修センターに込められた思い

AGC モノづくり研修センターは、「モノづくりを支える高度な技術・技能やユニークな発想は、人財*の教育・育成を抜きにしてはあり得ない」という、門松 CEO をはじめとした当社トップの強い思いが込められている。

AGC は本年創立 100 周年を迎える。今後、次の 100 年を担う技術・技能をもった人財を育てる「人づくり」の場として、当センターは AGC グループに大きく貢献していくものと期待される。

※企業は人なりという考え方にに基づき、「人材」という言葉にあえて「人財」とあてた。